

# カッパ秘伝の傷薬

今から二〇〇年程前、牛久沼のほとりに一匹のカッパが住んでおりました。

ところがある日、誤って指を折ってしまいました。ちょうどその時通りかかった

医者がその指をひろい、家に持ち帰ってしまったのです。

カッパは困って、その指を返してくれるよう

頼みました。

しかし指は返し

てもらえません。

とうとうカッパ

は、医者に交換条

件を持ち出しました。

「指がなくては泳げません。もし

返していただけたら、よくきく

傷薬の秘伝をお教えしましょう。」…

カッパは指を返してもらおうと、涙を

流して喜びました。

それから二、三日してカッパは現れ、

医者に傷薬の秘伝を教えました。

その薬は吸い出しにもよくきいて、馬が

井戸に落ちた時、むしろに塗って蓋をして

おいたら馬まで吸いあげたというのです。

